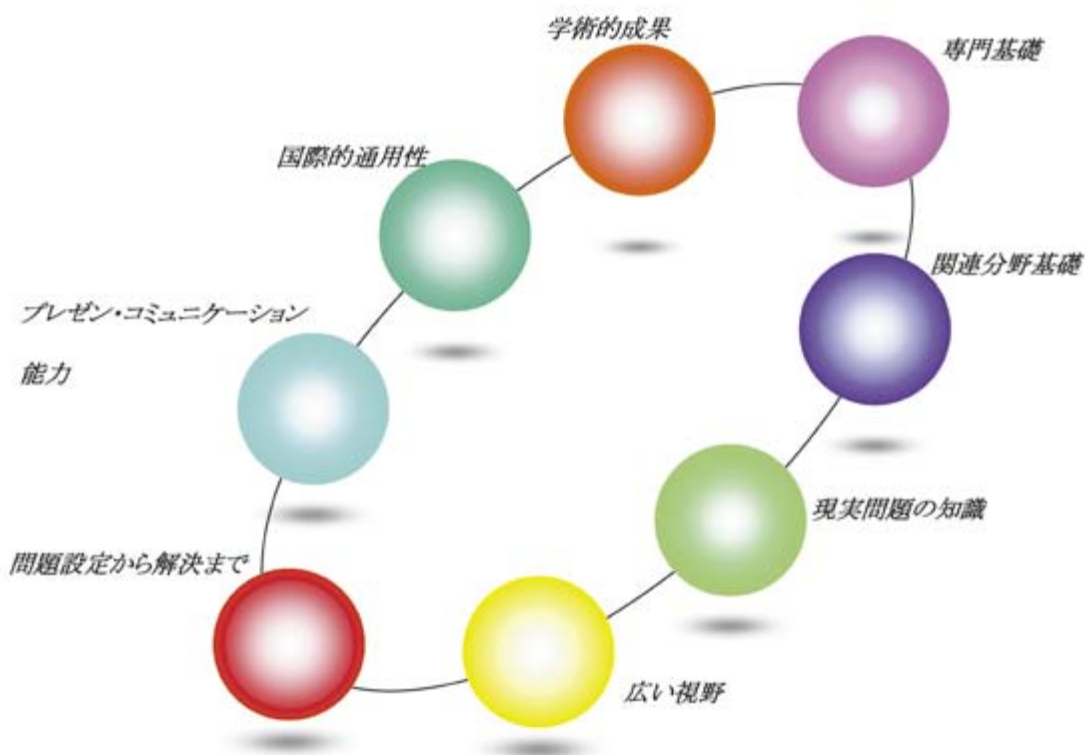


RISK ENGINEERING

BULLETIN OF DEPARTMENT OF RISK ENGINEERING

リスク工学研究



Faculty of Systems and Information Engineering
University of Tsukuba

目 次

[巻頭言]

大学院GP「達成度評価システム」の本格実施	内山 洋司	1
-----------------------	-------	---

[GP特集]

大学院GPプログラムの実施経過	宮本 定明	3
大学院GPにおける達成度評価について	宮本 定明	5
学生側の対応(ポートフォリオとエビデンス, 自己評価書)・	小田 秀充・小出 篤史	7
教員側の対応(ポートフォリオとエビデンス, シラバスの充実, カリキュラムの充実)	岡本 栄司	9
エビデンス蓄積のシステム化	岡島 敬一	11
達成度評価の試行と実運用	伊藤 誠	13
キャリアパス支援について	内山 洋司・岡島 敬一	15
学生, 教壇に立つ ～プレFDに対する, 参加者からの感想と提言～	鈴木 研悟	17
プレFD報告書	濱砂 幸裕	19
大学院GP海外調査報告ヨセフ・フーリエ大学における大学院教育に関する現地調査	遠藤 靖典	21
韓国における災害リスク研究・教育に関する調査報告	鈴木 勉・李 召熙	23
ジョージ・ワシントン大学における Graduate Teaching Assistantship Program Report on the Graduate Teaching Assistantship Program at the George Washington University	村尾 修	25
参加報告	濱砂 幸裕	28
IFORS 2008参加報告	李 召熙	30
TSP'08参加報告	小出 篤史	32
初海外発表, そして初の海外	鈴木 研悟	34
Report on PIE 2008 & 52nd HFES	Huiping ZHOU	35
REPORT ON A STUDY VISIT TO CIGRE CONFERENCE AND UNIVERSITY OF PARIS 1	Radzian	37
文部科学省平成19年度採択大学院教育改革支援プログラム「達成度評価システムによる大学院教育実質化」		
リスク工学専攻大学院GPシンポジウム議事録	羽田野 祐子	39
平成19年度「大学教育改革合同フォーラム」におけるポスター発表	梅本 通孝	41

[論文]

適切なアクセス制御状態にあるネットワークシステムの特徴抽出	金岡 晃	43
-------------------------------	------	----

[研究科長賞]

送信者認証機能を付加した放送型暗号	金沢 史明	49
類似度評価アルゴリズム内のパラメータ最適化による, 類似度評価の向上	岡 望実	51

[リスク工学専攻長賞]

中身重視の会話	鈴木 研悟	59
スケールフリーなネットワークトポロジ上でのDDoS対策の評価と検討	天沼 佑一	64
人間と機械の協調	永井 義朝	72

[研究会・講演会]

雙峰祭期間中における専攻公開・説明会	梅本 通孝	79
筑波大学・国土技術政策総合研究所包括連携プロジェクトについて	谷口 綾子	81

[プロジェクト]

グローバルCOEプログラム「サイバニクス」におけるリスクの視点	稲垣 敏之	85
---------------------------------	-------	----

[その他]

リスク工学シリーズについて	岡本 栄司	87
CwU2007 Workshopに参加して	宮本 定明・遠藤 靖典	89
第4回メディア情報検証学術研究会開催報告	掛谷 英紀	92

[所属教員研究業績一覧]

トータルリスク分野	97
サイバーリスク分野	112
都市リスク分野	121
環境・エネルギー分野	131

〈編集担当〉

責任者 内山 洋司

編集担当 伊藤 誠

リスク工学専攻

事務室

電話 029 - 853 - 7361

FAX 029 - 853 - 5809

問合せメールアドレス

bulletin@risk.tsukuba.ac.jp

専攻ウェブ

<http://www.risk.tsukuba.ac.jp>

「リスク工学研究」 Vol. 5

発行 平成21年3月31日
発行者 筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻
代表 内山 洋司
〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1
Tel. 029-853-7361
印刷所 谷田部印刷(株)
茨城県つくば市谷田部1979-1
Tel. 029-836-0350



Faculty of Systems and Information Engineering
University of Tsukuba